

忘れない! 備えの大切さ 防災

梅雨などの雨が降る時期は自然災害が発生しやすく、より一層の備えが必要です。
県では、「自助」「共助」「公助」の強化に取り組んでいます。
また熊本地震の経験や教訓を伝えていく取り組みも始まっています。

自助



自分の命と家族の命は自ら守りましょう

最新の気象情報をテレビ・ラジオ・インターネットなどで収集し、
明るい時間帯の「予防的避難」を心掛けましょう。



防災ハンドブック

災害時に必要な情報をまとめています。

熊本県 防災ハンドブック 検索

熊本県統合型防災情報システム

県内の気象情報、雨量情報などをリアルタイムで確認

熊本県統合型防災情報システム 検索



寝室などの家具が
転倒や移動しない
よう、しっかりと
固定しておきましょう



最低3日分の
水・食料を
備蓄しましょう

日頃利用している食品や生活必需品を少し多めに購入して
おく「日常備蓄」なら、簡単で無駄にならない備蓄ができます。



市町村が作成する
ハザードマップで、
危険箇所や避難経路を
確認しておきましょう



公助

大切な命を守るための制度を積極的に活用しましょう

レッドゾーンから安全な地域(イエローゾーン外)への
住宅移転経費を最高300万円補助します。

- 補助の対象/住宅の建設・購入費・住宅除去費など
- 一定の条件を満たせば、国の既存制度と併せて最大1,100万円の補助が可能
- 熊本地震により被災された方(被災者生活再建支援制度の受給対象者)も支援の対象

ご自宅やご家族のお住まいがレッドゾーン内かどうかは、
インターネットなどで「土砂災害情報マップ」を確認!

【お問い合わせ】熊本県砂防課 ☎096-333-2553

熊本県 住宅移転 検索

警戒レベル4の
うちに、全員安全な
場所へ避難を!

土砂災害危険住宅移転促進事業



共助

災害時に近隣の住民が 助け合う地域を目指しましょう

災害発生時の被害を最小限にするためには、
自主防災組織を中心に、地域住民がお互いに協力し、
防災活動を行うことが大切です。



毎年、3月11日を「春竹防災の日」として訓練などを実施。
現場は混乱したが、「その混乱が訓練になります」と南さん。

これまで築いてきた顔の見える関係を生かし、
住民が災害を「自分のこと」として考えて
行動できるよう、「避難所運営マニュアル」を
作成し、訓練などを行っています。



春竹校区(自主防災組織)自治協議会長
防災連絡会長・南 茂司さん

自治会などの小さな
地域コミュニティで助
け合う意識をもつこ
とが大切なんだね!



私たちが
レポートします!
熊本県内の大学生で構成される
「たより隊」が熊本県のお知らせ
を、分かりやすくレポートします。

熊本学園大学
栗原悠斗さん

風化させない、忘れない

熊本地震の経験や教訓を伝える「語り部」からのメッセージ



「危機管理能力」を養うためにも、被災地に実際に足を運び、自分で感じる
ことが大事。そして、その経験を
「大切な人」に伝えていってください。

橋村さくらさん
美里町地域おこし協力隊として働きながら、
要望のあった団体に講演などを行っています。



普段から前向きな心持ちでい
ることが、いつ起こるか分から
ない災害にうまく対応するた
めに大切です。

永田忠幸さん
益城町で、農業の傍ら、学生などを対象に、
語り部として震災経験を伝えています。

地震から月日が経ち、記憶の
風化が危ぶまれています。
「語り部」の皆さんが伝えたい
思いを言葉にし、多くの方
に届けてくれているんですね。



たより隊
熊本学園大学
新谷杏里さん

熊本地震デジタルアーカイブ



熊本地震の被害や復旧・復興状況が分
かる写真、映像、文書などの資料や、日頃
の備えを学べる動画を掲載しています。

熊本地震 アーカイブ 検索



熊本地震震災ミュージアム



熊本地震の記憶や経験、教訓
を国内外に発信するため、地
震断層などの震災遺構を巡
る回廊型のフィールドミュージ
アムの実現に向けた取り組
みを進めています。

震災遺構として保存する東海大学阿蘇校舎1号館建物